

第1号様式

市民との意見交換会・報告書

開催地区：大戸地区	開催日時：令和7年11月11日（火）18時00分～19時30分
担当班：第5班（出席議員）吉田恵三、柾屋奈津子、奥脇康夫、内海基、小倉孝太郎	
開催場所：大戸公民館	
参加人数：男性 10名、女性 0名、合計 10名（他自治体等傍聴者 3名）	
会場の雰囲気、次回に向けての反省点、申し送り事項など	
<p>1. 意見交換の総括</p> <p>(1) 議会報告、市政全般についての総括</p> <p>① 9月定例会議について 議会だよりにおける表現について、もう少し配慮が必要ではないかという意見が出された。</p> <p>② 市政全般（市のまちづくりに向けた課題）について 映画館の誘致を例に挙げて、若者を呼び込めるまちづくりをするべきであるという意見が出された。</p> <p>(2) 地区別テーマについての総括</p> <p>① 地区別テーマ 安心して暮らせるまちづくり</p> <p>② テーマ設定の理由、背景 大戸地区では、区長会とまちづくり協議会のそれぞれがまちづくりに対して熱心に活動をしており、区長会からは毎年、市長宛に要望書が出されており、意見交換会ではその中からの質問や意見が出されるため。</p> <p>③ 主な地域課題 熊の被害に対して、市の対応をしっかりと行ってほしい。 令和6年度の大雪を受けて、除排雪をしっかりと行ってほしい。 大戸小・中学校が小規模特認校のまま義務教育学校へと移行していきたい。</p>	

会津若松市議会議長様

令和7年11月25日

会津若松市議会市民との意見交換会実施要領第2項第11号の規定により提出します。

予算決算委員会委員長 小倉 孝太郎

意見交換会第5班 代表者 吉田 恵三

## ○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの  
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項  
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況		※項目 キーワード
		分類	番号	
議会だより5ページの第4分科会「除排雪対策の取組」のテーマの丸2つ目の「地域住民も自分たちで何とかしようと考える人がいない感じる。行政だけ頑張ってもどうにもならない。市民の協力も必要。」という表現が非常に気になる。市がそのように言うなら分かるが、議員がここまで言ってしまうと議員としてやる気がないのでないかと感じる。自分たちは熱意を持っている、という補足があってもよい。これでは市の代弁者ではないかと受け止められる一文として大変残念である。市民が見ておかしいと感じるような文章は載せないでほしい。このような文章にまとめた背景について聞きたい。	この発言については、議員の発言ではなく、意見交換の際に議会モニターに登録している市民の方からいただいた意見である。我々も、除雪に関しては重要な課題であると捉えている。令和6年度は除雪だけで24億円使っている。効率の良い体制を築いていくことも課題であることから、しっかりととした情報発信と、財源も含めて検討していくかなければならないと考えている。実際、区長などが高齢者宅の除雪や子どもの通学路の除雪を頑張っていることを、議会の方から「いや、こういう取組をされていますよ」と議会モニターに伝えるべきであり、その中から掲載するという配慮が必要だった。	●	①	議会広報
会津若松市は大学がある地域としても県内他市(福島市、郡山市)よりも評価されているにもかかわらず、映画館がない。そのようなまちだから若者が帰ってこない。だから若者がいない。このようなまちづくりをしていては、どうにもならない。県立大学もあるのだから、学生を呼び込めるようにしないと生き残れないし、将来が真っ暗だ。	経済団体からも映画館誘致などの要望は受けている中で、現時点では若者が市外に出ていく現状であり、映画館の誘致は現実的に困難な状況にある。ご意見の通り、大変な状況だが、しっかりと取り組んでいかないと将来はないと我々も考えている。	○	②	まちづくり

○ 地区別テーマでの意見交換について

→ 安心して暮らせるまちづくり

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの

【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
	大戸地区における安心して暮らせるまちづくりに関する良い事例、課題・問題の事例について教えていただきたい。				
令和7年9月に大戸町区長会要望書で出した閻川地区の落石防止ネット設置要望について、市の回答は「現状を確認してまいりますのでご理解お願いします」というものだった。この場所では、約800kgの落石が2回発生しており、落石の最も多い箇所は、防護柵ネットにとどまらず、ガードレールまで破壊され石が落ちている状態である。このような危険な現状にもかかわらず、市のあのような回答では、危険地帯であるという認識がないのではないかと感じる。スノーシェッドの先のくぼみになっている所が一番石が落ちてくる箇所なので、そこだけでも防いでくれれば良いと考えている。道路課の職員には「早く工事を始めてくれ」と伝えているが、是非現場を見てほしい。	事前に道路課に行き、落石の件を聞いてきたところ、「随時、道路パトロールを実施しており、石が落ちれば重機で撤去している。落石は確認している。」とのことだった。今回、改めてご要望をいただいたので、現地確認をさせていただきたい。	○	③	後日調査し、事後報告する。 (事後報告書P11に記載)	道路
大戸地区全て、林道等の脇に至るまで、全ての道で危険があると思う。特に、そこに住む住民に去年の落石や倒木具合を聞けば、被害の状況が分かる。住民や通行者にとって危険と隣り合わせの状態なので、道路課でよく話を聞いて対応してほしい。議会から強く言ってほしい。	全体的に対応してほしいとのことだが、まずは一番危険なところの現地確認から対応していきたいと思う。	○	②		道路

○ 地区別テーマでの意見交換について

→ 安心して暮らせるまちづくり

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの

【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
現在、全国で熊被害が報道されているが、会津若松市では大戸地区が一番、熊が生息している状況にあると思う。令和7年に捕獲した熊は大戸地区だけで60頭に上る。その原因の一つとして、山の手入れをしないため山が荒れてしまったことが挙げられるが、これは人口減や若者の活動が減ったことに起因している。とにかく罠の数が少ない。大戸には4個の罠があるが1個は使い物にならず、必要に応じて市の罠を使用して捕獲している状況だが、罠のサイズが違うため小さい熊しか入らないという問題がある。	市内全域で熊の目撃情報があり、昨日開催した東山地区でも同様の意見が多数あった。まず罠の数を増やしていくことには解決しないという点は重要だと思う。次の12月定例会議に向けて参考にさせていただきたい。	○	②		鳥獣対策
熊を駆除するためには、猟友会の方に頼み、鉄砲で撃ってもらうか、罠をかけてもらう方法があるが、猟友会への手当が少ないという問題がある。会津若松市として、猟友会へ特別の補助金を出してほしい。	手当については自治体によって対応が異なる面もあるかと思う。議会として適正な手当を求めていきたい。	○	②		鳥獣対策
熊の死骸の処理について、南会津町などでは国の補助で焼却炉が設置されている。市の場合、放射能検査のために解体して持っていた死骸は焼却施設で燃やすことができるが、それ以外は全て埋立て処理となる。埋立てでは、土を被せる量が少ないと他の動物に食べられたり、悪臭が発生したりする問題があるため、焼却施設を整備してほしい。	南相馬市などには、動物専用の焼却施設が整備されている。会津若松市では、解体処理後、焼却処分をするか、地元の皆さまのご理解をいただいて埋設するかという対応となっている。焼却については、会津管内10市町村で運営しているごみ焼却施設があり、小動物の焼却のための施設についての意見も上がってきてている。	○	②		鳥獣対策

○ 地区別テーマでの意見交換について

→ 安心して暮らせるまちづくり

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの

【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
熊対策について、市が対応するのは遅いのではないか。被害が出る前から対策すべきだった。11月15日以降は畠が使えないこと、また10月以降は農作物が少なくなるため人的被害が増えると思われる。11月15日以降の市の対応はどうなるのか。人的被害も出ていることから、緊急を要する事態ではないか。なるべく早い対応をお願いしたい。	産業経済委員会での予算審査や決算審査などのやり取りの中で、意見を交換したり、提言・提案をしている。緊急事態であればすぐに対応するような場合もあり、今後の検討課題とされることもある。被害が出た時に委員会等の中で議論を行ってきたが、令和7年度は令和6年度以上に被害が多くなっているため、更に市と話をしていくたい。	<input type="radio"/>	②		鳥獣対策
現在、舟子地区で林道工事をやっているが、真砂土を入れただけで、ほとんど転圧されていないため、大雨によって道路に轍ができる。現場の人がスコップで少しは整地しているが、工事車両が入る時期も分からずに困っている。農林課に伝えたがなかなか対応が遅い。工事区間が縮められた分、補修するか、あるいは雨で流れないような対策を取ってほしい。林業専用道路舟子峠線は、いつ開通するのか。	林道工事の件について、豪雪等もあって令和3年度末から工事の進捗が遅れているという報告は受けている。今のご意見も市に伝える。いつ開通するのかは、担当課に確認してから事後報告させていただきたい。	<input type="radio"/>	③	後日調査し、事後報告する。 (事後報告書P11に記載)	林道

○ 地区別テーマでの意見交換について

→ 安心して暮らせるまちづくり

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの

【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
令和7年2月の初めに大雪が降った影響で市内は狭い路地の道路まで渋滞し、全く身動きができない状態となった。私は親族を病院まで送迎しているが、通常30分程度で着くところ3時間もかかった。私以外にも、大勢の人が大変な目に遭ったと思う。多少の遅れは仕方ないにせよ、今回のような事態は異常事態であったと思う。この大渋滞、大混乱を招いた原因は、市としてどこにあるのか、市として普段から大雪があった場合を想定したシミュレーションや対策をしてきたのか、近年雪が少なくなってきたため、除雪費の予算を削ってきた結果、予算が少なくなっていたのではないか。	今回、交通渋滞を起こしてしまった原因として、雪が降り始めたのが朝6時頃（2月5日）で、除雪車が入る前に通勤の車が雪を踏み固めてしまったことである。その後に除雪車が入っても、きれいに除雪ができず、あのような結果になってしまった。予算については増やしてきており、例年の当初予算では7億2,000万円ほど除雪関係でとっていた。今回の豪雪を受けて前回の9月定例会議で補正予算を組み、除雪車の購入等も含んだ3億5,000万円の予算除雪対策事業費として増額した。市では新たな取組として、①除雪委託業者の台数の増加、②山取班の設置、③大雪の予報時の出動基準（今まで積雪10cm）の見直しを考えている。	○	①	雪害対策	

○ 地区別テーマでの意見交換について

→ 安心して暮らせるまちづくり

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの

【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
閩川地区は集落全体が標高が高いため、一番最初に雪が積もる集落と奥の集落では積雪の量が全く違う。「10cm」という出動基準は、一番積雪が多い最終地点で10cm積もれば除雪が来るということよいのか。	基本的には、降った中で一番早く10cm積もったところから除雪の出動が始まると考えていただいてよい。	<input type="radio"/>	①		雪害対策
市民の意見としては、もう少し早めに除雪をしてもらいたいという声が多い。ほとんどの人が車で旧市内に働きに出るため、会社に遅刻することに困っている。場所が遠くなくとも、雪のせいで遅れてしまっている。10cmという基準は、降り始めて10cmに達するだろうという段階ですぐに動いてもらうような要請をしても大丈夫ということよいのか。	10cmに達すると見込まれる場合は要請していただいて大丈夫である。	<input type="radio"/>	①		雪害対策
私は山形県米沢市に20年近く通っていて、米沢市は本市と比べて平時の4倍、5倍の積雪量があるが、今回本市で発生したような大混乱は起きず、普段通り交通が流れている。これは、米沢市が対策を徹底し、それが当たり前になっているからだと思う。本市としても、米沢市のような先進事例の自治体に、意見を聞いたり、視察に行ったりして、安心して暮らせるまちづくりのために大渋滞を起こさないような対策を講じてほしい。	全く同じご意見を、昨日の東山地区でもいただいた。除雪に関しては、我々も大変重要な課題だと捉えており、秋には新潟県上越市へ視察に行かせていただいた。先進事例として、似たような取組をしている中でも体制が違うところがあったことから、参考になる点を市の方に提言し、建設委員会の中で議論していきたい。	<input type="radio"/>	①		雪害対策

○ 地区別テーマでの意見交換について

→ 安心して暮らせるまちづくり

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの

【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供)

③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
10cm積もったら除雪するということだが、各地区に積雪量を確認する人がいるのか。会津若松市の旧市街地と大戸町では降り方が全く違う。大戸町の方が市内よりも除雪車の台数は多く出ている。しかし、昨年度は、湊地区は毎日朝から晩まで除雪車が出ていたが、大戸地区は朝1回だけであり、その間に30cmも40cmも積もった。今後はどんどん要請しても構わないのか。	過去には積雪計を設置していたがうまく使えなかった経緯があり、今は「見て回る」のが一番確実だとされていることから、夜間パトロールの方々の判断と、気象情報で判断している。市ではGPSを付けて業者の出動を管理をしているので、何回来ているかどうかも全て把握している状況にあるので事後報告する。当然、積雪があれば出動を要請していただいて構わない。	○	③	後日調査し、事後報告する。 (事後報告書P12に記載)	雪害対策
ふるさと農道について、市は「農道だから除雪しない」という方針らしいが、なぜ除雪しないのか。この農道は、基盤整備で個人の土地を開放し、最終的には県に買ってもらって県道・国道になるという話だった。それが、他の地区で大型車の通行が大変だということで、一部区間だけが格上げになり、道路を舗装した経緯がある。昨年は、国道118号で事故があれば、本郷を通って会津若松市内に帰るしかなかったことから、ふるさと農道が迂回路として活用できればと考えている。農道を格上げしてもらえるよう、議会から言ってもらいたい。	今回の大戸町区長会要望書の回答にもあるように、「農道だから」という理由で、対応が困難であると示されている。しかし、今回の大雪で、ふるさと農道の除雪はこの地区にとって必要であると受け止めた。担当課に伝える。	○	③	後日調査し、事後報告する。 (事後報告書P13に記載)	雪害対策
令和7年2月の大雪の時、小塩地区で1か月間路線バスが通らないという状況があった。小・中学生の通学や、通勤に影響が出ることから、今シーズンはそのようなことがないようにしてほしい。	地域住民にとって1か月間路線バスが通らない状況は日常生活に支障を来すことになるため、公共交通網はしっかりと確保しなければならないと考える。	○	②		雪害対策

○ 地区別テーマでの意見交換について

→ 安心して暮らせるまちづくり

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの

【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
将来的に大戸小・中学校が義務教育学校になると思われるが、小学校1年生は令和7年度は1人しかおらず、児童・生徒が減っている。何年か前に、旧市内から電車やバスで通ってきていた子どもたちがいたが、大戸地区の人が温かく迎え入れてくれた結果、現在も子どもたちは生き生きと学校生活を送っている。こうした取組をもっと宣伝し進めてほしい。何百人もいる市内の不登校・拒否傾向の子どもを、大戸地区の方に受け入れさせてほしい。大戸中学校の生徒は現在では数学など全国レベルまで成績が向上している。このような良いところを宣伝し、大戸地区をもう少し活性化させてほしい。議員にも協力してほしい。	文教厚生委員会の方でも、新しい学校の在り方についてをテーマとして議論をしている。新しい学校としては、河東学園や湊学園ができ、大戸小・中学校が小規模特認校になった経緯がある。そして大戸小・中学校を今後、義務教育学校にしたいという地域の動きがあることも、教育委員会との議論の中で理解している。湊学園の義務教育学校への移行では、校舎の一体化についてまだ実現していない部分があると聞いていているので、大戸小・中学校の義務教育学校の移行の際には、小・中学校の一体感も踏まえ、しっかりと進める必要があると考えている。令和9年4月に義務教育学校ができればという計画だとすると、小学校の方で工事をする必要があることから、我々もなるべく早く進むように後押しできればと考えている。	○	①		学校教育
大戸小・中学校の義務教育学校への移行に関して要望したいのは、会津若松市内から通ってくる子どもたちに通学費の援助をしてほしい。児童園の子どもについては車で送迎してもらえるが、それ以外の子どもたちにも、過疎化対策として通学費の援助をお願いしたい。	通学費に関しては支援の在り方を検討中である。	○	②		学校教育

## 市民との意見交換会・事後処理報告書

大戸地区

件名	処理（対応）内容	備考
1. 市道闇川線の落石防止ネットの設置について (P 4)	<p>【市民からの要望・質問】 市道闇川線に落石防止ネットを設置してほしい。</p> <p>【事後処理結果】 11月17日 現地を確認。 11月19日 道路課に確認。 当該箇所については要望書をいただきしており、課題解消に向けて協議を進めているところであるが、多額の工事費用を必要とするため、早急な対応が困難な状況である。取り急ぎパトロールを強化して、通行の安全確保に努める、とのことであった。</p>	現地視察の様子は、別紙のとおり
2. 林業専用道路舟子峠線開設工事について (P 6)	<p>【市民からの要望・質問】 林業専用道路舟子峠線は、いつ開通するのか。</p> <p>【事後処理結果】 11月12日農林課に確認。 令和7年8月末時点において、全長2,300mのうち、700mまで工事が完了している。今後は国等からの補助金等を含め、財源の確保に努めながら、年次計画で進めていくこととしており、現時点で完成年度は明示できないものの、可能な限り早期に開設したいと考えている、とのことであった。</p>	

## 市民との意見交換会・事後処理報告書

大戸地区

件名	処理（対応）内容	備考
3. 大戸地区及び湊地区の除雪の出動について（P 9）	<p><b>【市民からの要望・質問】</b> 湊地区に比べて大戸地区は除雪の出動回数が少ないのでないか。</p> <p><b>【事後処理結果】</b> 11月14日 道路課に確認。 大戸地区は1回しか除雪が来ないが、湊地区には24時間作業しているとの指摘について、除雪の出動は市内全域で同じ基準で運行しており、GPSを用いた運行システムにおいても積雪量に応じた作業がされており、大戸地区や湊地区といった地区によって違うということは確認できなかった。しかしながら、降雪量が多い場合は、道路の形状や雪溜め場の有無によって作業時間に影響があるため、委託業者の担当範囲の作業が完了するまでに時間を要することもあるため、出動基準の見直しや除雪車数の増強を行いながら、除雪体制の強化に努めていく、とのことであった。</p>	

## 市民との意見交換会・事後処理報告書

大戸地区

件名	処理（対応）内容	備考
4. ふるさと農道（上雨屋地区）の除雪について（P 9）	<p><b>【市民からの要望・質問】</b> 上雨屋地区のふるさと農道を市道等に格上げしてほしい。</p> <p><b>【事後処理結果】</b> 11月12日農林課に確認。 ふるさと農道は、農作物生産のための利用を主な目的として整備された道路であり、冬期間の利用を前提としている道路構造となっていることから、除雪路線としての位置付けをしていない。農政部としては、今後とも農道としての維持管理に意を用いていく、ということであった</p> <p>11月14日 開発管理課に確認。 市道の認定についてはこれまで市民要望を踏まえ、一定要件を満たす路線を認定してきた経過にある。今回ご意見をいただいた当該路線は、ふるさと農道として整備されており、市道に用途を変更することの妥当性や、路線延長が長いことから、認定の要件を満たすかの判断に時間を要すること等から、慎重に見極めていく必要があるものと考えている、とのことであった。</p>	現地視察の様子は、別紙のとおり

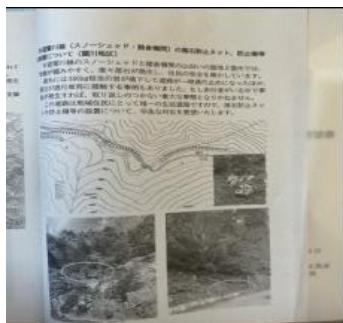
会津若松市議会議長 様

令和7年11月25日

予算決算委員会委員長 小倉 孝太郎  
意見交換会第5班 代表者 吉田 恵三

# 市民との意見交換会・事後処理報告書（大戸地区）

## 1. 市道闇川線の落石防止ネットの設置について 現地視察の様子（市道闇川線付近）



## 4. ふるさと農道（上雨屋地区）の除雪について 現地視察の様子（上雨屋地区のふるさと農道付近）

